

矢崎財団 リチウム電池など 研究に助成・援助

矢崎科学技術振興財団（細川興一理事長）は、「新材料」「エネルギー」「情報」3分野を対象に、平成29年度研究助成金受領者15人、特定研究助成金受領者1人、矢崎学術功績および同賞奨励賞受賞者2人を決定し、8日に都内で贈呈式を実施した。

研究助成のうち、一般研究（200万円）には「金属有機構造体を利用したエネルギー材料の開発」（吉川浩史関西学院大学理工学部准教授）をはじめ5件（応募78件）、若手研究者対象の奨励研究（100万円）には「よく聞こえる、拡声システムのための音声合成システムの構築」（小林洋介室蘭工業大学大学院工学研究科しくみ情報系領域助教）はじめ48件、特定研究（1000万円）には「高密度ナノ配線形成に資する金属含有ブロック高分子のグラフォ・ケミカルエピタキシ」（福島誉史東北大学大学院工学研究科機械機能創成専攻准教授）が決定した。

また国際的な学会で論文や共同研究発表をする際の渡航費を援助する国際交流援助は19件だった。矢崎学術功績賞は忍久保洋名古屋大学大学院工学科化学・生物工学専攻教授、矢崎学術奨励賞は大塚朋廣理化学研究所創発物性科学研究センター量子機能システム研究グループ研究員が受賞した。